



## 年頭のあいさつ

鬼北町長 松浦 甚一

明けまして おめでとうございま

す。皆様にはご家族お揃いで良いお正月を迎えられたこと存じ、心からお慶び申し上げます。あわせて昨年一年、新生鬼北町政推進にお寄せ頂きましたご理解とご協力、ご支援に對し心より感謝申し上げます。お蔭をもちまして、わが鬼北町は、新町建設計画に沿って順調に諸施策が推進できていることをご報告でき、大変嬉しく思っております。

現在鬼北町は、「鬼北町長期総合計画」を始め「過疎地域自立促進計画」「辺地総合整備計画」等の基本構想を策定または策定中であり、今後これらの基本計画に沿って町民のご理解と議会のご協力をいただきながら着実に政策実現を計っていきたいと考えております。

しかしながら、小泉内閣の押し進める行政改革、いわゆる「三位一体の改革」は、郵政民営化関連法案成立後の大きな柱として位置づけられ、強い意志をもって推進されようとしていきます。また、改革推進にあたっては「地方の意見を尊重する」と言明されながらも「国から地方への税源委譲」「国庫補助負担金改革」「地方交付税改革」等どれも地方にとって厳しい方向に改革が進められているようにしか受け取れません。

特に地方固有の財源である地方交付税が大きく見直しをされるようなことになれば、地方は立ち行かなくなるのではと大変心配をしています。

す。国の方針に對し、全国町村長会議はもちろんのこと、地方六団体が連携し、強力な要請・陳情運動を展開しているところです。

平成17年度は合併支援に対する特別交付税の増額、合併周辺地の支援事業等により計画どおり政策推進ができましたが、平成18年度は合併支援の交付税も減額されることが考えられ、財源確保が難しくなることが予想されております。合併特例債も歳入面での切り札とは成り難く、地債、過疎債等を最大限に活用し、地方税の確保とあわせ財源確保に努めたいと思っております。また、各種事業の徹底した選別、効率化を推進するとともに職員の適正な定員管理と組織機構改革等の合理化を推進し、歳出の縮減を進めていきたいと考えております。

今後は、鬼北町立病院の開設、近永アルコール工場跡地の利活用、農林・商工業の推進に積極的に取り組み「森がすくすく、川がいきいき、人が元気」「小さくともキラリと光る」町づくりを町民の皆さまと共に推進していきたいと考えております。皆さまも是非、自分達の住む町は自分たちでつくるのだという認識をもっていたいただき、町づくりに参加・協力いただきますようお願いいたします。結びに、町にとりましても、町民皆さまにとりましても、今年が良い年でありませう祈念いたしました。年頭のあいさつとさせていただきます。